

い ず み じ ょ う      か め が じ ょ う  
出水城（亀ヶ城）跡

ち ゅ う せ い や ま じ ろ あ と た ん け ん かい  
中世山城跡探検会

ほ う こ く し ゃ  
報告書



出水城（亀ヶ城）跡[右側の森林部分]と出水麓地区の武家屋敷群

出水市教育委員会生涯学習課

平成27年3月

## 1 大会の目的

中世山城跡は、遺構が良好に残っていても、雑草や樹木などが繁茂しているところが多いため、大事な遺構が隠れてしまい、人目に付きにくくなっていることが多いようです。最悪の場合、山城遺構の存在が忘れられてしまい、その結果、知らない間に工事などにより遺構が消えてしまうことが心配されます。

そこで出水市教育委員会では、このような市内の中世山城跡を舞台に、新たな遺構発見を目指しながら中世山城跡に実際に足を踏み入れることで、新しく発見された遺構や、目の前に姿を現した本物の遺構に感動することで、市内の中世山城跡についてさらによく知ってもらおうと、探検会を企画しました。

第1回目の探検会は、市指定史跡でもある、出水城（亀ヶ城）跡です。

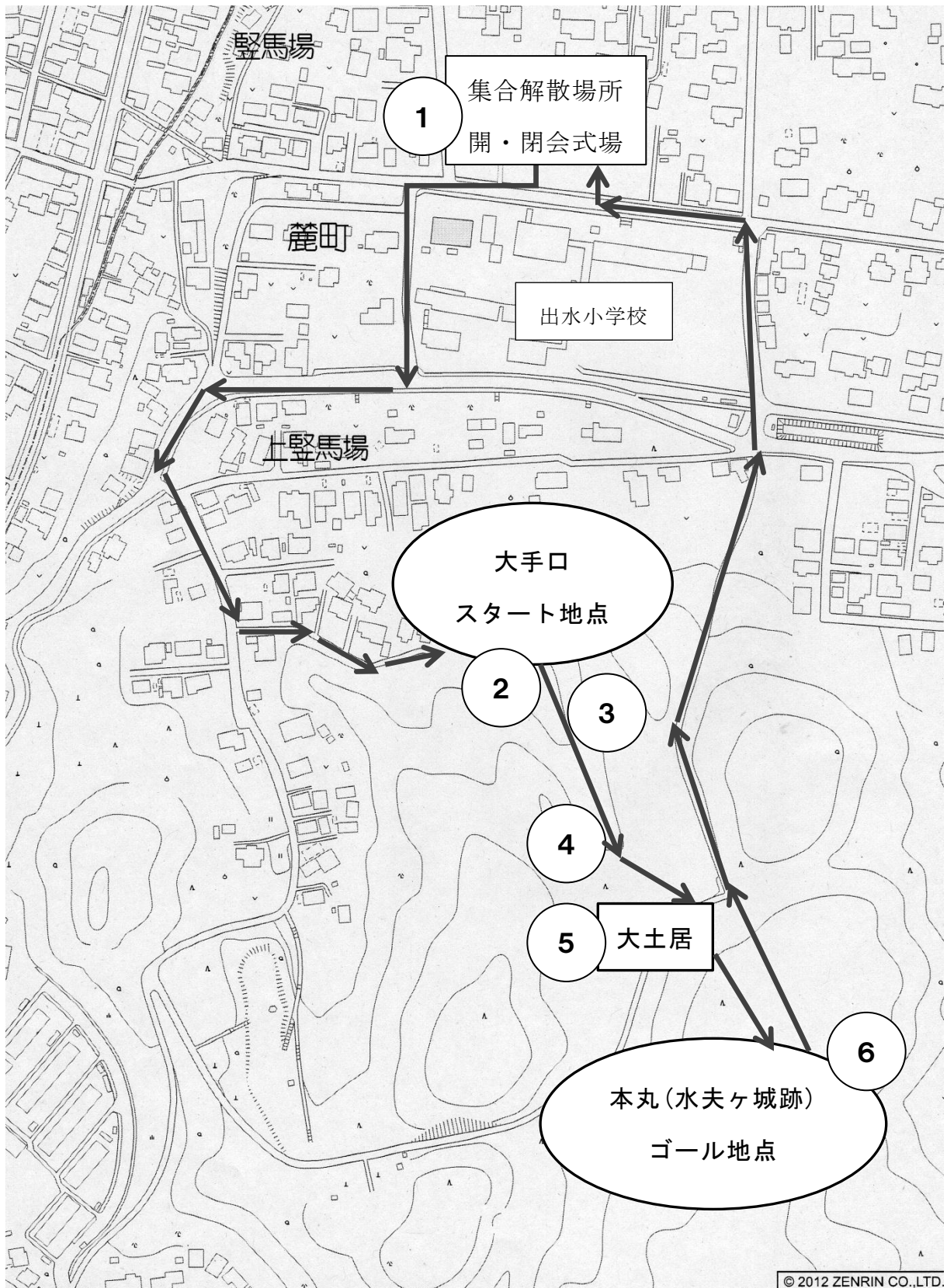
## 2 出水城（亀ヶ城）跡について

出水城（亀ヶ城）は、出水十一ヶ城跡の1つで、鎌倉時代は和泉城と称し、和泉氏の本拠地でした。室町時代末期までの約400年間の長い間、様々な変遷が行われたと考えられています。室町時代に入って島津用久が薩州家を起して亀ヶ城に入ったのが1453（享徳2）年です。

出水城（亀ヶ城）が立地する場所は、米ノ津川と平良川に挟まれていて敵からの攻撃などを防ぐことに適した丘陵地です。そして、このあたり一帯は厚いシラス層が堆積しているところで、長年の侵食でできた大小の谷は、山城の曲輪や空堀などを作るのに適していたと考えられます。

## 3 探検会の概要

- (1) 名称 平成26年度中世山城跡探検会「出水城（亀ヶ城）跡」
- (2) 日時 平成27年1月17日（土）午前9時～正午
- (3) 参加者 41人
- (4) コース [集合・開会式場] 出水小学校前広場～大手口～大土居～  
本丸（水夫ヶ城跡）～梅ヶ段前林道  
[閉会式場・解散] 出水小学校前広場



## 出水城（亀ヶ城）跡 探検会コース図

※丸囲み数字の位置は、次頁 4 活動の紹介 の場所です。

## 4 活動の紹介

### ①開会式



開会式は麓町の出水小学校前広場で開催。市内外から約40人の参加がありました。

### ③探検の風景1



山城の中は草やぶや倒れた木が行く手を阻(はば)みます。出水城に居た人たちもこんな風に城の中を歩いたのでしょうか？

### ⑤講師による説明



大土居遺構の前で山下真孝(やましたさねたか)先生の話聞く参加者。出水城で政治を行っていた薩州島津家の話しを中心に説明がありました。

### ②大手口



探検のスタートは出水城の玄関口「大手口」から。参加者の中には、ヘルメットをかぶった方もいます。探検気分が高まる？

### ④探検の風景2



そびえ立つ山城のがけは、敵をよせつけない高さです。その高さを見上げて、山城の迫力に参加者は圧倒されているようです。

### ⑥本丸（ゴール）到着



ゴールの本丸は「水夫ヶ城(すいふがじょう)」と呼ばれています。本丸では当時の権力者が、そこに建物を建てて、政治などを行っていました。ここは山城の中でも平らに作られた場所です。

## 5 参加者の感想

○誰でも参加できる時間、距離だったので企画としてとても良かったと思います。もちろん、歴史的興味もわいて来ました。本日はありがとうございました。

○ていねいな説明で山城についてとても勉強になりました。ありがとうございました。今後の発掘調査に期待したいと思います。

○案内がとてもよかったです。ありがとうございました。

○とても楽しい時間でした。説明も分かりやすく地元のことを知らないなあと、感じました。ゲームで2班に分かれ、本丸跡に宝物を置き、攻める、守る、とか本気でやれば面白いかなあ、と思った事でした。今日は本当に有難うございました。

○出水に生まれて68年になりますが、この出水城跡に初めて来てみました。勉強になりました。

○出水小学校にいた頃見ていた城山を見にきました。城の規模の大きいのに驚きました。お話をうかがいながらの散策は、いろいろ勉強になりました。

○地図には花見城はなみじょうと記されており、一つの城と思っていたが七つもの城があるとは知りませんでした。ガケを作ることで守りの優位性がよく分かりました。このような企画がなければ貴重なことを見ること、知ることが出来なかった。よい企画ありがとうございました。

○同じ町に住んでいて、なかなか勉強できていません。またの機会を楽しみにしています。

○みんなに説明が届くように対応お願いします。ごくろうさまでした。

○将来、今日のコースを散歩道にして、武家屋敷観光コースに組み入れてほしいです。

○いつでも入って見られるように整備していただきたい。

○もっと市外への広報、若い人の参加をうなが促して欲しいです。

○ぜひできるだけ復元整備工事等していただき、観光地の一角にいっかく含めていただきたい。

○今回の探検会で、出水城はかなり大きな山城であったことがわかりました。長くそのまま放置されていたので杉や竹が意外に大きく成長していますので、少しずつ整地されて、麓の武家屋敷を見物された方々が、少し城山にあがってみる事ができるようにしていただきたいと思いました。

※この他にもたくさんの御感想や御意見をいただきました。

ありがとうございました。



H27.1.23 南日本新聞

## 6 まとめ

大会当日はやや肌寒い曇天での開催となりました。探検会場の出水城跡内は、前日までの雨の影響が心配されましたが、歩行などに特に問題は無く、会はスムーズに進行できました。

探検会には市内及び近辺からの参加が多かったですが、薩摩川内市や鹿児島市からの参加者も見られるなど、史跡への関心が高い方が多いことを感じました。

参加者は山城探検スタートの大手口でナタ、カマなどの道具を受け取り、歩行に邪魔な雑草や枝を取り払いながら進み入り、出水城跡の切立った曲輪のがけの下に立ったり、曲輪に作られた土塁を見つけたり、だんだん細くなる城道など歩き、あたかも当時の戦人の気分を体感していたようでした。

大土居遺構では出水ふもと街並み保存会会長で郷土史研究者でもある山下真孝さんの出水城の歴史に関する説明を、水夫ヶ城跡では発掘調査担当者の発掘調査に関する報告・説明と、梅ヶ段と水夫ヶ城跡の空堀付近では、出水城を昔からよく知っている地元上山崎自治会の大尾一正さんの、主に少年時代の頃の出水城跡の話をお聴いたりしました。

このように、出水城跡の探検会は「足で歩き、目で見て、耳で聞く」と、郷土の歴史をまさに体感するというような探検会になりました。

今回は野田町上名の市指定史跡「亀井山城本城跡」を含む、亀井山城跡で開催予定です。



亀井山城跡の航空写真